

事業番号	376
------	-----

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	自主事業開催事業						担当部	教育委員会事務局			
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	まなび創造館			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降			担当係	事業係		
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		18 男女共同参画		1 男女共同参画意識の高揚を図る					
		副目的										
	予算区分	款	10	項	5	目	9	大	4	中	5	
	根拠法令・個別計画											
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	16 %		委託	84 %		助成	0 %			
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	市民に良質な芸術・文化に触れる機会を安価で提供し、市民の文化・芸術への親しみと関心を高めるとともに、子育て中の親でも安心して参加できるよう託児付で開催する。										
	内容 (手段)	<p>○23年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンサートやライブ公演などを開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>有料 3回 松谷 卓コンサート2011～『大改造！！ピフォーアフター』感動の世界～劇団かかし座シルエットミュージカル「みなみのうみのおとぎばなし」水木一郎コンサート アニキがやってくる！水木一郎スペシャルライブ2012</li> <li>無料 3回 ティエラブランコンサート～アンデスからの招待状～ラ・テトラコンサート アコーディオンとバイオリンのコンサート『音楽の世界紀行』</li> </ul> </li> <li>職員は、男女共同参画の視点で年間6事業の企画、他市の状況を鑑みた料金設定と料金管理、チケット・ちらしの作成と広報活動、出演者との連絡調整、当日の来場者の整理を行う。</li> </ul> <p>【直接経費の内訳】 出演者謝礼(275千円) 印刷費(263千円) 開催委託料(2,920千円)</p> <p>◎24年度実施内容 23年度と同様に実施する。</p>										
受益者負担	女性センター自主事業入場料(959,100円 一般1500円、ファミリー向け500円)											

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	3,608	3,150	3,458	3,700	
		正職員	従事者数	人	0.30	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	1,595	531	531	531
		その他職員	従事者数	人	0.20	0.00	0.20	0.20
			人件費	千円	305	305	305	305
		費用合計	千円	5,508	3,986	4,294	4,536	
	対前年比	%		72.3	107.7	105.6		
財源	一般財源	千円	4,380	2,863	3,335	3,696		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	1,128	1,123	959	840		

業	活動指標名		単位	H21	H22	H23	H24
	公演回数	回	目標	6	6	6	6
			実績	6	6	6	
			目標				
			実績				
			目標				
実績							
績	成果指標名		単位	H21	H22	H23	H24
	参加者(有料)	人	目標	735	735	735	780
			実績	834	755	820	
	参加者(無料)	人	目標	735	735	735	780
			実績	1,012	906	890	

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	<p>事業の達成状況</p> <p>子育て中の親でも安心して参加できるように託児付で開催した。また、小さい子どもにもクラシックに触れる機会を提供するためにプレ公演と本公演の2部制で実施するなどいろいろな世代のニーズに対応できる事業の企画をし、目標達成に至った。</p>
	事業実施における課題等	公演の内容によって、集客が容易な場合と困難な場合があり両極端である。
	事業を縮小・廃止したときの影響	施設を知ってもらうことができず、男女共同参画の推進や文化・芸術への関心を高めることができない。市民ニーズに対応することができない。
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持
	判定理由	託児付でさまざまな年齢層に対応できる事業を実施することができた。施設の特徴を生かしながら、あらゆる世代の参加が得られるようにさらに内容を検討する必要がある。
	改善案等	公演の内容によって、集客が容易な場合と困難な場合があり両極端なので、公演内容の見直しや周知方法を検討する。

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。